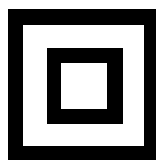
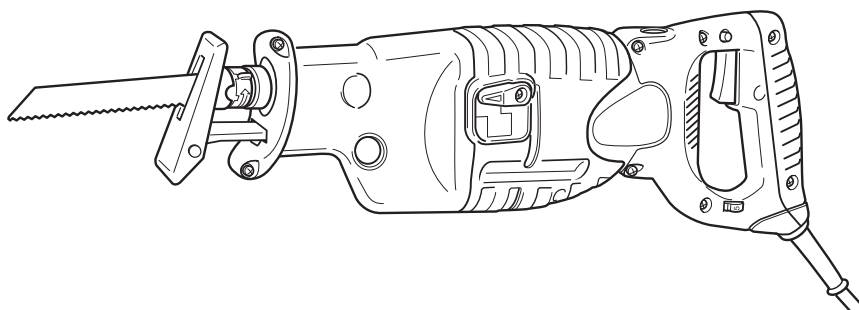
Hitachi Koki

日立電子セーバソー

CR 13VA

取扱説明書

このたびは日立電子セーバソーをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁

HITACHI

目　次

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告　**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注意　**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　**：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。
- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“回”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

電子セーバソーの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，電子セーバソーとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，速度が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **作業する箇所に，電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを，作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると，のこ刃(ブレード類)が触れ，感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり，事故の原因になります。

③ **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑤ **誤って落としたり，ぶつけたときは，のこ刃(ブレード類)や機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 注　意

① **のこ刃(ブレード類)や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

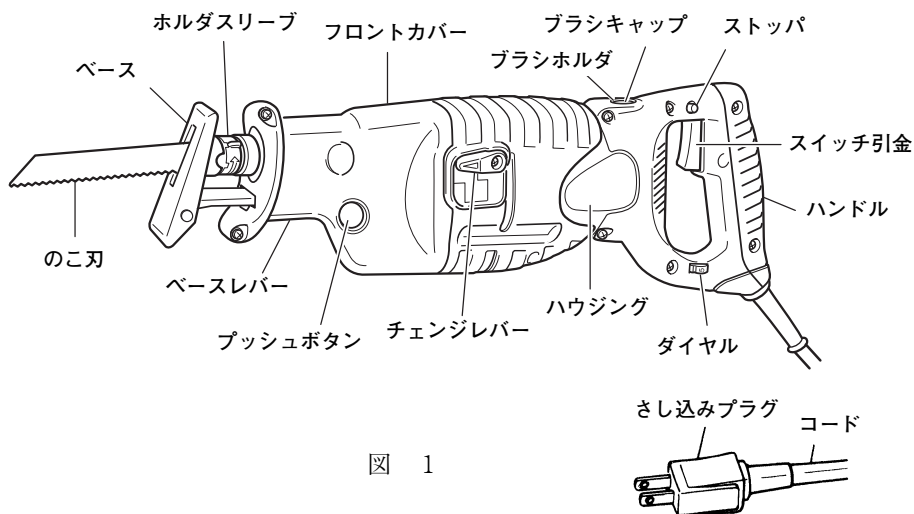
② **使用中は，のこ刃(ブレード類)や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

③ **使用直後ののこ刃(ブレード類)は高温になっているので，触れないでください。**
やけどの原因になります。

④ **のこ刃(ブレード類)でコードを切断しないように注意してください。**
感電の原因になります。

⑤ **高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っかけたりしないでください。**
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

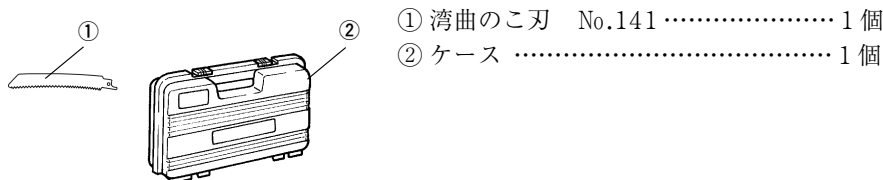
各部の名称

図　1

仕　　　様

使　用　電　源	単相交流 50／60 Hz　　共用 電　　圧 100 V
切　断　能　力	軟鋼パイプ　外径 130 ㎜，塩ビパイプ　外径 130 ㎜ 木　　　材　厚さ 120 ㎜ 軟　鋼　板　厚さ　19 ㎜
モ　ー　タ　ー	単相直巻整流子モーター
全 負 荷 電 流	11 A
消　費　電　力	1050 W
無負荷ストローク数	0 ～ 2800 min^{-1} ｛0 ～ 2800 回／分｝
ス ト ロ ー ク	32 ㎜
質　　　　　量	4.0 kg（コードを除く）
コ　　ー　　ド	2 心キャブタイヤケーブル　2.5 m

標準付属品

図　2

① 湾曲のこ刃　No.141 ………………… 1個
② ケース ……………………………… 1個

別 売 部 品

…………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

○ 各種のこ刃

作業の能率や仕上げを良くするには，加工物の材質や厚さに適したのこ刃を使うことが大切です。下表を参照し，加工物に適したのこ刃をご使用ください。

注 • **表中の最大加工物寸法は，ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は，最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。**

表１．ハイスブレード（ストレートタイプ）

のこ刃番号	最大加工物寸法（mm）		のこ刃の寸法（mm）			山　数（山/25.4 mm）	包装数量
			全長	幅	厚さ		
No.1	鋼　管	外径 105	195	18	0.9	14	5枚入
No.2		外径　30	120				
No.3						24	
No.4	木　材	厚さ　70	160			3	
No.5	プラスチック管	外径　30	120			9	
	木　材	厚さ　30					
No.8	プラスチック管	外径 105	205				
	木　材	厚さ 105					
No.9	鋼　管	外径 130	300			14	3枚入
No.95	ステンレス鋼管	外径 105	195			18	
No.96		外径　30	120				

表２．バイメタルブレード（BI-METAL）（ストレートタイプ）：
丈夫で折れにくいのこ刃です。

のこ刃番号	最大加工物寸法（mm）		のこ刃の寸法（mm）			山　数（山/25.4mm）	包装数量
			全長	幅	厚さ		
No.101	鋼　　管 ステンレス管	外径　60	150	18	0.9	10	5枚入
No.102		外径 130	228				
No.103		外径　60	150			14	
No.104		外径 130	228				
No.109		外径　60	150			18	
No.110		外径 130	228				
No.107		外径　60	150			24	
No.108		外径 130	228				
No.121	木材 ＡＬＣ	厚さ 120 外径 130	305		1.3	6	
No.131	鋼管 ステンレス管 ＡＬＣ	外径 130 厚さ 130	305		0.9	10～14	
No.132	鋼管 ステンレス管 木材	外径 110 厚さ 110	203		1.3	6～11	

表３．湾曲タイプブレード：
湾曲形状（特許）＋ バイメタルにより、切断スピードと寿命を大幅に向上させた最新ののこ刃です。

のこ刃番号	最大加工物寸法（mm）		のこ刃の寸法（mm）			山　数（山/25.4mm）	包装数量
			全長	幅	厚さ		
No.141	鋼　　管 ステンレス管	外径　60	150	18	0.9	14	5枚入
No.142		外径 115	200				
No.143		外径 130	250				
No.145		外径　60	150			18	
No.146		外径 115	200				
No.147		外径 130	250				
No.148						24	
No.152		外径 115	200		1.3	14	
No.153		外径 130	250				
No.154			300				
No.155	木材 ＡＬＣ	厚さ 120				8	
No.156							

※スイング切断時には、湾曲タイプのブレードを使用しないでください。
のこ刃の破損や、機体の損傷の原因になります。

用　　途

○パイプ，アングルの切断
○各種木材の切断および窓抜き
○軟鋼板，アルミ板，銅板などの切断
○ベークライト，塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認………

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード………

⚠ 警　告

- **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎜²	15 m
2 ㎜²	25 m
3.5 ㎜²	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告
• ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り，離すと切れます。スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．のこ刃を取付ける………

取付けは次項の「のこ刃の取付け方」をご参照ください。

4．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

のこ刃の取付け方・取はずし方

<table><tr><th>⚠ 警　告</th></tr><tr><td>• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。</td></tr></table>

本機は，スパナやレンチなどの工具を使用しなくてものこ刃の取付けと取はずしができる，ツールレス着脱機構を採用しています。

1．のこ刃の取付け方………

（1）スイッチ引金を何回か入り切りして，ホルダスリーブがフロントカバーからいっぱいまで飛び出した状態にします。その後，スイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。(図３)

<table><tr><th>⚠ 警　告</th></tr><tr><td>• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。</td></tr></table>

（2）ホルダスリーブを図４の矢印の方向(ホルダスリーブに刻印された矢印と同じ方向)に回してください。約半回転回しますとホルダスリーブは自動的に固定できます。(図４)

（3）のこ刃をプランジャ先端のスリットにいっぱいまで差し込んでください。のこ刃は上下どちらの方向にも取付けることができます。(図５，６)

（4）ホルダスリーブを矢印の方向(ホルダスリーブに刻印された矢印と反対の方向)に少し戻してください。ホルダスリーブはスプリングの力で自動的に勢いよく戻ります。この時，ホルダスリーブを締付ける必要はありません。(図７)

<table><tr><th>⚠ 警　告</th></tr><tr><td>• のこ刃を引張るときは，必ずのこ刃の背面を引張ってください。刃のついている部分を引張りますと，けがの原因になります。</td></tr></table>

（5）のこ刃の背面を指で２～３回引張り，のこ刃が確実に取付けられたことを確認してください。のこ刃を引張ったときに「カチャ」と音がしてホルダスリーブがすこし動けば，確実に取付けができています。(図８)

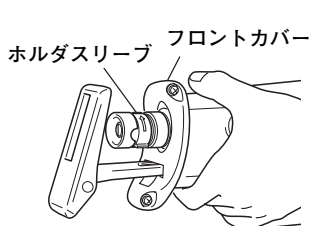



図　３

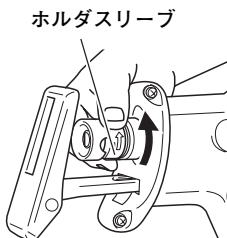



図　４

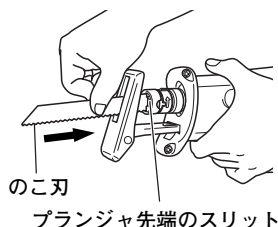



図　５

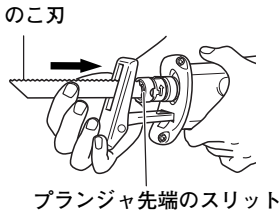
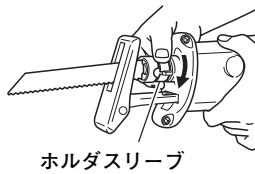
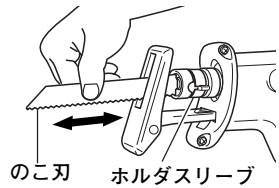



図　6　　図　7　　図　8

2．のこ刃の取はずし方………

スイッチ引金を何回か入り切りして，ホルダスリーブがフロントカバーからいっぱいまで飛び出した状態にします。その後，スイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。(図３)

ホルダスリーブを図４の矢印の方向(図４参照)に回して固定してから，のこ刃を下に向けてください。のこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合はのこ刃を指で引張って取はずしてください。

⚠　警　告
• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠　注　意
• 使用直後ののこ刃は高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。

のこ刃が折れた場合

のこ刃が折れてプランジャのスリットの内部に残ってしまった場合でも，通常はホルダスリーブを矢印の方向に回し固定してから，のこ刃を下に向けることにより折れたのこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合は次のようにして取はずしてください。

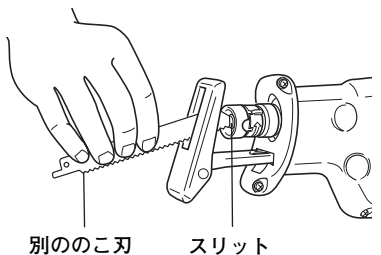



図　9

（1）折れたのこ刃の一部がプランジャのスリットから飛び出している場合は，飛び出している部分を引張って取はずしてください。

（2）折れたのこ刃がスリットの内部にかくれてしまっている場合は，別ののこ刃の先端部分を使って折れたのこ刃を引っかけて取はずしてください。(図９)

3． のこ刃取付け部の保守・点検について………

図　10

（1）のこ刃取付け部がいつも円滑に動くように，ご使用後は切粉・土・砂・水分などをエアーで吹き飛ばすか，ブラシなどで清掃してください。
（2）ホルダスリーブを図4の矢印の方向に回した状態で，半月形の隙間から切削油などを定期的に注油してください。

（図10）

注 ・**のこ刃取付け部の清掃や注油を行わずにご使用になりますと，切粉や粉じんによりホルダスリーブの回転が重くなり，指先ではのこ刃を取はずせなくなることがあります。**
このような場合は，ペンチやプライヤなどでホルダスリーブの外周をかるく保持して，ホルダスリーブを左右に少しずつ回してください。
のこ刃が取はずせたら，必ずエアーなどで清掃し注油をして，のこ刃取付け部が円滑に動作することを確認してください。

ベースの調整について

本機は，スパナやレンチなどの工具を使用しなくてもベースの取付け位置を3段階に調整できるツールレス調整機構を採用しています。

（1）プッシュボタンを押してください。ベースレバーが飛出してベースが調整できる状態になります。（図11）
（2）ベース先端を上に押し上げながら，ベースを前後に動かしてください。

（図12）

（3）ベースの位置は3段階に調整できます。約15㎜間隔を目安としてベースを動かし，ベースが引っかかる位置を探してベースレバーを指先で強く押し込んでください。「カチッ」と音がしてベースが固定されます。（図13）

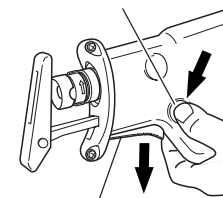
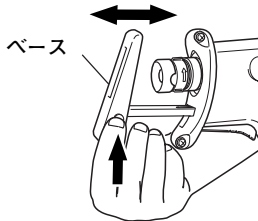
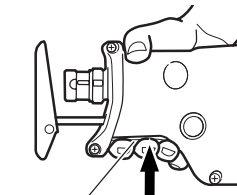



図　11　　図　12　　図　13

のこ刃スピードの調整とスイング切断について

1． のこ刃スピードの調整………

本機は，スイッチ引金の引込み量とダイヤルの両方で，のこ刃のスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。(図 14）

（1）スイッチ引金を大きく引くとのこ刃のスピードが上がります。切断を開始するときは，スピードを下げて(低速)切断してください。ねらった位置に正確に切り込むことができます。十分な切り込みが得られてからスピードを上げて(高速)切断してください。

（2）ダイヤルの目盛り“5”が最高速で，“1”が最低速です。一般には木材などの軟質材には高速，金属などの硬質材には低速が適しています。下表を目安として，切断材料に合ったスピードでご使用ください。

切断材料の例	推奨ダイヤル目盛り
鉄パイプ・鋳鉄管・L形アングル	2～4
木材・くぎが打込まれた木材	5
ステンレス	1～3
アルミ・黄銅・銅	2～4
ALC・石膏ボード	4～5
プラスチック・ファイバー板	1～3

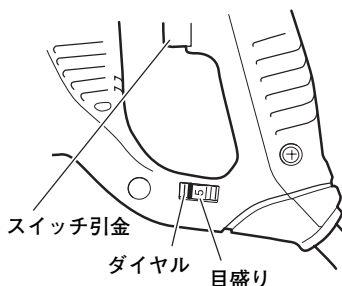



図　14

注

- **低速(目盛り1～2程度)の状態では，木材10㎜，または鉄板2㎜を越える厚さの材料は切断しないでください。モーターに無理がかかり，焼損の原因になります。**
- **本機には強力モーターを使用していますが，低速で長い時間連続して作業すると，モーターに無理がかかり，焼損の原因になります。とくに切断中にのこ刃が停止するような無理な使い方は避け，常に滑らかに切断できるように，のこ刃スピードを調整してください。**

2. スイング切断について………

本機は，のこ刃の動きを直線的に動かすストレート切断と，振り子のように動かすスイング切断の２方式の切断の仕方が選べます。（図15，図16）

（1）ストレート切断

チェンジレバーを横向きにセットするとストレート切断になります。

一般には金属のような硬質材を切断する場合はストレート切断で行ってください。（図15）

（2）スイング切断

チェンジレバーを縦向きにセットするとスイング切断になります。一般には木材のような軟質材を切断する場合はスイング切断で行ってください。スイング切断にセットしますと，のこ刃が切断材料に勢いよく食い込むため能率良く切断できます。（図16）

スイング切断は，のこ刃を上下どちらの方向に取付けても能率良く切断できます。

注

- **軟質材でも曲線切りや，きれいに切断したい場合はストレート切断で行ってください。**
- **チェンジレバー部にごみやほこりが溜まると，チェンジレバーの動きが悪くなることがあります。チェンジレバー部はときどき掃除してください。**

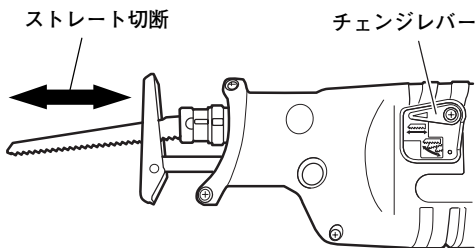



図　15

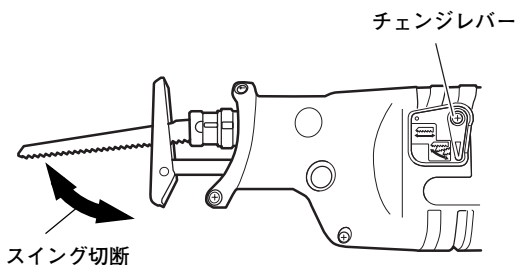



図　16

切り方

⚠ 警告

- フロントカバー(図1参照)をはずさないでください。
  必ずフロントカバーの上から本体を保持してください。
- 使用中はベースを切断材料に押し当てて切断してください。
  しっかり押し当てないと振動によりのこ刃を損傷することがあります。
- のこ刃の長さは，図17，19に示すようにストローク量を差し引いたのこ刃のベースから飛び出し長さが，切断材料より十分大きくなるように選んでください。のこ刃の切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断しますと，のこ刃先端がパイプ内壁または木材に当ってのこ刃を折損する恐れがあります。(図18，20)
- 能率良く切断するために，のこ刃スピードとスイング切断の切り換えを作業条件，切断材料に合わせて調整してください。

図 17

図 18

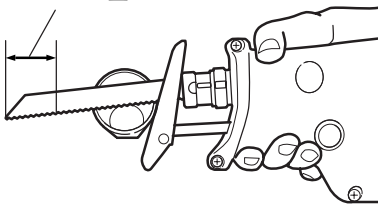
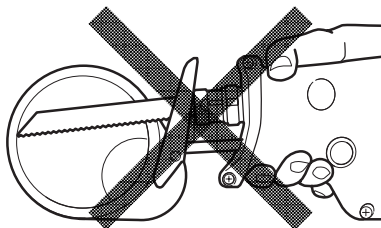
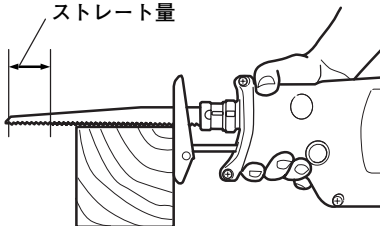



図 19

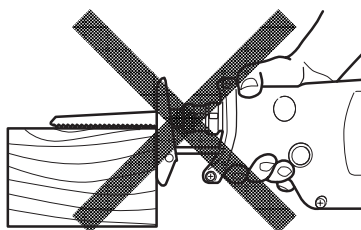



図 20

注 • 作業時にはプランジャ部から切粉・土・砂・水分などが機体内部に入らないように注意して使用してください。切粉などがプランジャ部にたまるときには，その都度，清掃しながら作業してください。

1．スイッチのストッパについて………

⚠ 警　告

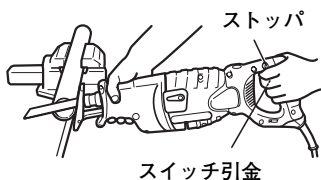
- **電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。不意な始動により，思わぬケガの原因になります。**
- **さし込みプラグを電源にさし込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。**

スイッチは引金を引くと入り，ストッパ（図21，22，23）を押すと指を離してもスイッチは入ったままになっており，連続作業に便利です。スイッチを切るときは，再び引金を引いてください。ストッパは自動的にはずれます。

2．金属切断の場合………

⚠ 注　意

- **切断時に無理な力を加えないでください。のこ刃を折損する恐れがあります。**
- **ベースを切断材にしっかり押しあててください。**

図　21

⑴ 加工物をしっかり固定して作業してください。（図21）

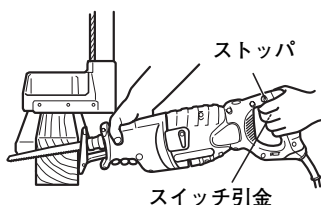
⑵ 金属切断の場合は適当な切削油（タービン油など）を使用してください。液状の切削油を使用しない場合は，グリースを加工物に塗ってください。

注 • **切削油を使用しないと，のこ刃の寿命が極端に短くなります。**

⑶ のこ刃のスピードは作業条件，切断材料に合わせてダイヤルの目盛りを調整してください。

⑷ チェンジレバーの位置はストレート切断（図15参照）にするとスムーズに切断することができます。

3． 木材切断の場合………

図　22

⑴ 木材切断の場合も加工物がしっかり固定されているかどうか確かめてから作業してください。（図22）
⑵ のこ刃のスピードは，ダイヤルの目盛りを“5”にすると能率よく切断することができます。
⑶ チェンジレバーの位置はスイング切断（図16参照）にすると能率よく切断することができます。またチェンジレバーの位置をストレート切断にするときれいに切断することができます。

注 • **切断時に無理な力を加えないでください。また，ベースを木材にしっかり押し当ててください。**

4． 曲線に切る場合………

⚠ 注　意

• **小さな円弧に切断する場合は，送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると，のこ刃を折損する恐れがあります。**

のこ刃は8ページの表2，文夫で折れにくいバイメタルブレード（BＩ－ME TAL）をご使用ください。

5． 窓を抜く場合………

本機は，木製の合板パネルや薄板木材への窓抜き切断を行うことができます。窓抜き切断は，図24，26，28のようにのこ刃を逆に取付けて行いますと容易に切断できます。のこ刃は，できるだけ短くて厚いのこ刃をご使用ください。8ページの表2，バイメタルブレードNo. 132をおすすめします。

切断作業を行なう際は，以下の手順を守って慎重に行ってください。

（1）ベース下部（または上部）を切断材料に押し当ててください。のこ刃の先端を材料から離した状態でスイッチ引金を引いてください。（図23，24）

（2）ハンドルをゆっくり持ち上げて少しずつのこ刃を切断材料に切り込んでください。（図25，26）

（3）のこ刃が完全に切断材料をつきぬけるまでしっかり本体を保持してください。（図27，28）

⚠ 警 告

- **金属材料には窓抜き切断は行わないでください。**
  のこ刃を折損する恐れがあります。
- **のこ刃の先端を切断材料に押し付けた状態でスイッチ引金を引かないでください。**
  のこ刃先端が切断材料に勢いよく当ってのこ刃を折損する恐れがあります。
- **必ず本体をしっかり保持して，ゆっくりと切断してください。**
  無理な力を加えて切断しますとのこ刃を折損する恐れがあります。

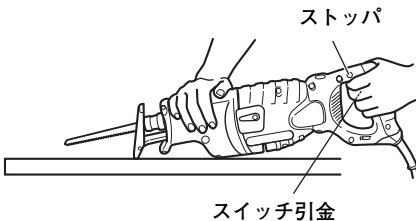



図 23

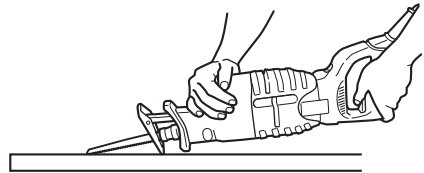



図 24

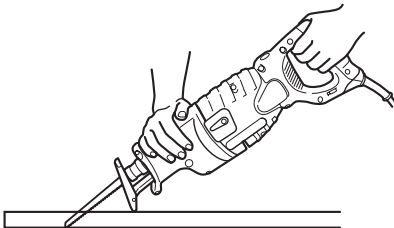



図 25

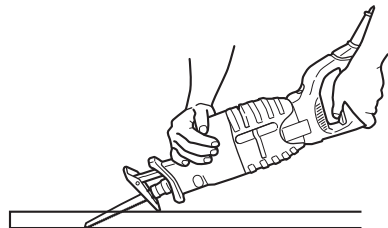



図 26

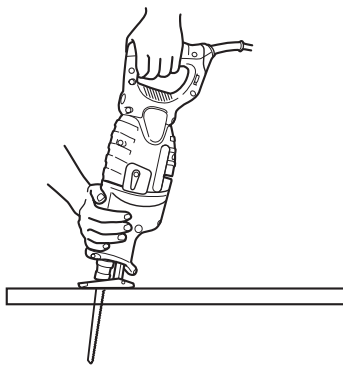



図　27

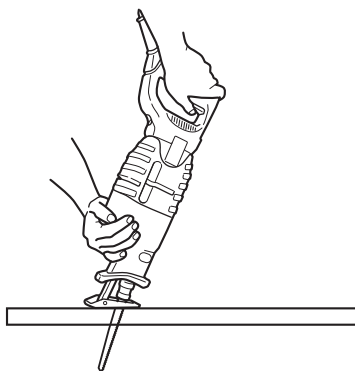



図　28

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．のこ刃の点検………

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますと，モーターに無理をかけることになり，また，能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．カーボンブラシの点検………

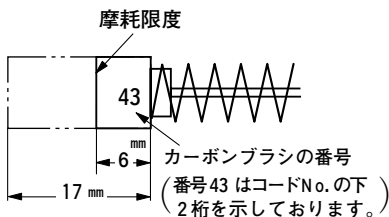



図　29

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度(6 ㎜)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注　• **新品と交換の際は，必ず図示の番号(43)の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取り出せます。

3．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと危険です。

4．モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • **モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．表面とプランジャ部のよごれ清掃………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は，乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

注 • **作業終了後，のこ刃取付け部（図10参照）に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくとプランジャ部がさびついて機体内部の故障原因になるので，必ず清掃して保管してください。**

6．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※　（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営 業 本 部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟）
☎(03) 5783-0626(代)

北海道支店　〒060-0003　札幌市中央区北三条西四丁目1番地1（日本生命札幌ビル）
☎(011) 271-4751(代)

東 北 支 店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号
☎(022) 288-8676(代)

東 京 支 店　〒110-0016　東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
☎(03) 5812-6331(代)

中 部 支 店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）
☎(052) 262-3811(代)

北 陸 支 店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番
☎(076) 263-4311(代)

関 西 支 店　〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）
☎(06) 4796-8451(代)

中 国 支 店　〒730-0011　広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）
☎(082) 228-0537(代)

四 国 支 店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号
☎(087) 863-6761(代)

九 州 支 店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号
☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

703
部品コード　C99100702　N